

広島女学院 第3次中期目標(2023～2027) 行動計画及び数値目標【大学】

中期ビジョン no	中期ビジョン	重点目標	行動計画	担当部署	2024年度 事業計画				事業報告
					NO	行動目標	評価指標	評価基準	
【Vision 1】 教育・研究	●小規模の女子 大学の特色を活か したライフキャリア教 育の実現	1. 教育理念の 実現および「伝え る力」の育成	①「伝える力」の育 成に向けたカリキュ ラム改善	総合学生支 援センター (教務)	1-1	「ライフキャリアデザインⅠ～Ⅶ」(必修)を2024年度の開 講に向けて準備する。	「ライフキャリアデザイン」シラバス (7セメスター)作成状況	5点：7つ 4点：6つ 3点：5つ 2点：4つ 1点：3つ以下	2
					1-2	ライフキャリアデザイン担当者の情報交換の場を設定す るなどして、伝える力に関する肯定的回答を増加させ る。	「ライフキャリアデザインⅠ」を基準 として「Ⅲ(2024年度は女性とラ イフキャリア)、Ⅴ、Ⅶ」の授業評 価アンケートの「伝える力」の肯定 的回答率の伸び率	5点：20%以上 4点：15-20%未満 3点：10-15%未満 2点：5-10%未満 1点：5%未満	1
					1-3	組織編成後も基礎科目、ライフキャリア科目に関して話 し合える体制を整える。	基礎科目、ライフキャリアデザイ ン、その他ライフキャリア科目につ いての協議回数	5点：5回以上 4点：4回 3点：3回 2点：2回 1点：2回未満	5
【Vision 1】 教育・研究	●小規模の女子 大学の特色を活か したライフキャリア教 育の実現	1. 教育理念の 実現および「伝え る力」の育成	②「伝える力」育成 のための授業改善 (アクティブラーニン グ、ICT教育の充 実化)	総合学生支 援センター (学務委員 会)	2-1	シラバス説明会（FD研修会）に全教員が参加し、シラ バス作成方法や授業改善に取り組む。	1月のFD研修会（シラバス説 明会）の参加率。（全教員中 何割か）	5点：100% 4点：90%～99% 3点：80%～89% 2点：70%～79% 1点：70%未満	—
					2-2	全15回の授業中でどの程度取り組んでいるか年度途中 で状況調査をおこない、改善する必要があるれば担当教 員へ連絡し、次年度への改善を促す。	シラバス内容調査の完了学科数	5点：5学科 4点：4学科 3点：3学科 2点：2学科 1点：1学科以下	—
					2-3	各教員における授業の実施方法を見直していくための 研修について、年間1以上の学外研修を受ける（オン ライン講座を含む）。	授業実施方法やスキルアップ等の 研修について1回以上受けた教 員の割合（全教員中何割か）	5点：90%以上 4点：80%～89% 3点：70%～79% 2点：50%～69% 1点：50%未満	1
【Vision 1】 教育・研究	●小規模の女子 大学の特色を活か したライフキャリア教 育の実現	1. 教育理念の 実現および「伝え る力」の育成	②「伝える力」育成 のための授業改善	総合学生支 援センター (情報、教 務)	3-1	アクティブラーニングに適した教室に関する意見を多方面 から収集し、反映させる。	意見収集数	5点：28件以上 4点：18-23件 3点：13-18件 2点：8-13件 1点：8件未満	1
					3-2	FDと連携し、アクティブラーニング研修参加を促すこと で、教員のアクティブラーニングに対する理解を深める。	研修会後アンケート（アクティ ブラーニング導入可能と回答した教 員数）	5点：48名以上 4点：43-48名未満 3点：38-43名未満 2点：33-38名未満 1点：33名未満	1
					3-3	アクティブラーニングを取り入れた授業を増やす。	学外FD研修会受講数＋学内 FD研修会での事例発表数	5点：50%以上 4点：30-40%未満 3点：20-30%未満 2点：10-20%未満 1点：10%未満	1

中期ビジョン no	中期ビジョン	重点目標	行動計画	担当部署	2024年度 事業計画				事業報告
					NO	行動目標	評価指標	評価基準	
【Vision 1】 教育・研究	●小規模の女子大学の特色を活かしたライフキャリア教育の実現	1. 教育理念の実現および「伝える力」の育成	③伝える力育成のための学生ポートフォリオの活用	総合学生支援センター（教務）	4-1	学務委員から学生ポートフォリオを使った面談を徹底する。	学生ポートフォリオを用いた全学生のチューター面談実施率（振り返りと指導）	5点：40%以上 4点：38-40%未満 3点：36-38%未満 2点：34-36%未満 1点：34%未満	—
					4-2	ポータルサイトの連絡の他、オリエンテーションでの周知をし、チューターと連携を取るなど、未入力者へ入力を促す。	学生のポートフォリオ自己評価の入力率	5点：100% 4点：98-100%未満 3点：95-98%未満 2点：92-95%未満 1点：92%未満	3
					4-3	職員の1年生面談においてもポートフォリオを用い、新入生から確認する習慣を促す。	1年生面談で活用を促した結果、「活動記録」を入力した学生数	5点：80%以上 4点：70-80%未満 3点：60-70%未満 2点：50-60%未満 1点：50%未満	—
【Vision 1】 教育・研究	●小規模の女子大学の特色を活かしたライフキャリア教育の実現	2. 小規模大学ならではの学生支援の実現	①一人ひとりにあった課外学修支援の充実化	総合学生支援センター（教務）	5-1	補習対象者への連絡体制を強化する。	補習全体の受講割合（対補習対象者）	5点：60%以上 4点：58-60%未満 3点：56-58%未満 2点：54-56%未満 1点：54%未満	1
					5-2	学科担当者(職員)が履修指導の際、補習対象者に受講を促す。	学科の指導状況 ※補習対象者がいない場合は指導済みとする。	5点：5学科 4点：4学科 3点：3学科 2点：2学科 1点：1学科以下	5
					5-3	基礎科目担当者と連携し、学生のフォローアップ体制を整える。	担当者との協議回数	5点：5回以上 4点：4回 3点：3回 2点：2回 1点：2回未満	1
【Vision 1】 教育・研究	●小規模の女子大学の特色を活かしたライフキャリア教育の実現	2. 小規模大学ならではの学生支援の実現	①一人ひとりにあった課外学修支援の充実化	ASC	6-1	チューターと連携しつつASCの案内をするほか、1年生面談でも呼びかける。	新規利用者の実数	5点：25名以上 4点：20-25未満 3点：15-20未満 2点：10-15未満 1点：10名未満	5
					6-2	学生にとって興味のある内容を把握し、ニーズに合わせた講座を開講する。	受講後アンケート(満足度)の最高位の平均回答率	5点：60%以上 4点：50-60%未満 3点：40-50%未満 2点：30-40%未満 1点：30%未満	5
					6-3	学科教員にレポート・論文指導、ICT機器の利用等で学生へのサポート状況を確認し、チューター面談でサポートが必要な学生に対しASCの利用を促すなど連携体制を強化する。	生活デザイン学科および児童教育学科の個別相談年間利用件数	5点：70件以上 4点：60-70件未満 3点：50-60件未満 2点：40-50件未満 1点：40件未満	5

中期ビジョン no	中期ビジョン	重点目標	行動計画	担当部署	2024年度 事業計画				事業報告
					NO	行動目標	評価指標	評価基準	
【Vision 1】 教育・研究	●小規模の女子 大学の特色を活か したライフキャリア教 育の実現	2. 小規模大学 ならではの学生支 援の実現	②学生の成長の場 および居場所づくり としての学内活動、 学修活動の活性 化	研究支援・社 会連携セン ター	7-1	ポータルサイトや課長会議等で呼びかけを行い、調査回 答率を100%にする。	調査回答率	5点：90%以上 4点：70-89% 3点：50-69% 2点：35-49% 1点：35%未満	1
					7-2	データベースを共有し、活動に対して消極的な教員の敷 居を低くすることで、2023年度の教員の活動率を40% 以上にする。	教員の活動率	5点：50%以上 4点：45-49% 3点：40-44% 2点：35-39% 1点：35%未満	5
					7-3	社会連携に興味を持つ職員に絞って呼びかけ、職員の 活動(協働)率を10%以上にする。	職員の活動率	5点：40%以上 4点：30-39% 3点：20-29% 2点：10-19% 1点：10%未満	3
【Vision 1】 教育・研究	●小規模の女子 大学の特色を活か したライフキャリア教 育の実現	2. 小規模大学 ならではの学生支 援の実現	②学生の成長の場 および居場所づくり としての学内活動、 学修活動の活性 化	総合学生支 援センター (学生)	8-1	外国人学生を含む学生に「アジアクラブ」を紹介し、活動 の説明を行い、メーリングリスト化する。	メーリングリスト登録数	5点：50名以上 4点：40-50名未満 3点：30-40名未満 2点：20-30名未満 1点：20名未満	1
					8-2	「アジアクラブ」として4月と9月のオリエンテーション時期に 新入留学生を含む交流会をする。	交流会に参加した留学生数	5点：15名以上 4点：12-15名未満 3点：10-12名未満 2点：5-10名未満 1点：5名未満	1
					8-3	自治会開催の学生交流イベントに参加する。	イベントに参加した留学生数	5点：15名以上 4点：12-15名未満 3点：10-12名未満 2点：5-10名未満 1点：5名未満	1
					8-4	「アジアクラブ」としてあやめ祭に参加する。	イベントへの参加学生の割合	5点：在籍する留学生の80%が当日 協力した 4点：在籍する留学生の50%が当日 協力した 3点：模擬店を出店した 2点：参加を申し込んだ 1点：参加を検討したが、参加しなかった	1
【Vision 1】 教育・研究	●小規模の女子 大学の特色を活か したライフキャリア教 育の実現	2. 小規模大学 ならではの学生支 援の実現	②学生の成長の場 および居場所づくり としての学内活動、 学修活動の活性 化	ASC	9-1	学生サポーターの実施内容を策定し、募集をする。	学生サポーター人数	5点：5人以上 4点：4人 3点：3人 2点：2人 1点：1人未満	3

中期ビジョン no	中期ビジョン	重点目標	行動計画	担当部署	2024年度 事業計画				事業報告
					NO	行動目標	評価指標	評価基準	
【Vision 1】 教育・研究					9-2	入学式や学期始め等に相談スペースを設置する。	実施回数（日数）	5点：5日以上 4点：4日 3点：3日 2点：2日 1点：1日以下	5
					9-3	ノートテイクの募集回数を増やし、登録者を増やす。	ノートテイクの新規登録者数	5点：5人以上 4点：4人 3点：3人 2点：2人 1点：1人未満	1
	●小規模の女子 大学の特色を活か したライフキャリア教 育の実現	2. 小規模大学 ならではの学生支 援の実現	②学生の成長の場 および居場所づくり としての学内活動、 学修活動の活性 化	図書課	10-1	「初年次セミナー」での図書館ガイダンスで課題を課し、 全員提出とする。	課題の提出率	5点：100% 4点：80-100%未満 3点：60-80%未満 2点：40-60%未満 1点：40%未満	2
					10-2	資料の検索方法や論文の書き方についてのガイダンス 回数を増やす。	ガイダンスの実施回数	5点：11回以上 4点：9-11回未満 3点：7-9回未満 2点：5-7回未満 1点：5回未満	5
					10-3	図書の貸出冊数増加に繋がるイベント等を実施する。	学生の図書貸出冊数の増加割 合（2023年度比）	5点：7%以上 4点：5-7%未満 3点：3-5%未満 2点：1-3%未満 1点：1%未満	5
【Vision 1】 教育・研究	●小規模の女子 大学の特色を活か したライフキャリア教 育の実現	2. 小規模大学 ならではの学生支 援の実現	②学生の成長の場 および居場所づくり としての学内活動、 学修活動の活性 化	宗教センター	11-1	チャペル委員ガイダンスで仕事内容を提示し、「キリスト 教の時間」の当番は各学期全員が3回以上のエントリー を得る。	3回以上の署名率	5点：90%以上 4点：80-90%未満 3点：70-80%未満 2点：60-70%未満 1点：60%未満	2
					11-2	チャペル委員ガイダンスで2023年度にチャペル委員が始 めた自主活動について紹介し、各プロジェクトへの参加 者を募り、活動を2つ以上存続させる。	プロジェクトの数	5点：4プロジェクト以上 4点：3プロジェクト 3点：2プロジェクト 2点：1プロジェクト 1点：0プロジェクト	5
					11-3	「キリスト教の時間」の当番の来場率を上げ、活動を持 続させて、総括会議を実施、出席を得る。	ガイダンス・総括会議を含め参加 回数が6回以上の者の数	5点：90%以上 4点：81-90%未満 3点：71-80%未満 2点：61-70%未満 1点：60%以下	1
【Vision 1】 教育・研究	●小規模の女子 大学の特色を活か したライフキャリア教 育の実現	2. 小規模大学 ならではの学生支 援の実現	③安心して学ぶた めの相談体制づくり	ASC	12-1	LAと連携しながら、より学生の要望に合わせた指導を 行っていく。	LAによる個別学修相談への満足 度（「満足」と回答した割合）	5点：90%以上 4点：87-90%未満 3点：84-87%未満 2点：81-84%未満 1点：81%未満	3

中期ビジョン no	中期ビジョン	重点目標	行動計画	担当部署	2024年度 事業計画				事業報告
					NO	行動目標	評価指標	評価基準	
【Vision 1】 教育・研究					12-2	掲示回数など学生に周知する機会を増やし、個別学修相談の認知度を向上させる。	個別学修相談の年間利用件数 (延べ数)	5点：500件以上 4点：480-500件未満 3点：460-480件未満 2点：440-460件未満 1点：440件未満	1
					12-3	個別学修相談の利用者に対し、学修状況の確認等をし、フォローアップすることで利用しやすい環境を創る。	リピーター率	5点：34%以上 4点：31-34%未満 3点：28-31%未満 2点：25-28%未満 1点：25%未満	5
					13-1	教務課と連携を取りながら、参加すべき研修等がある場合は教務から派遣してもらうなどして参加できる体制を整える。	全国組織の主催する研修会や説明会への参加回数	5点：5回以上 4点：4回 3点：3回 2点：2回 1点：1回以下	5
					13-2	授業を除く学内行事を担当する部署に対して合理的配慮の提供を依頼し、教職員の認識を高める。	授業を除く学内行事を担当する部署に対して依頼した、合理的配慮の提供の回数	5点：20回以上 4点：16-20回未満 3点：11-16回未満 2点：5-11回未満 1点：5回未満	3
					13-3	学内バリアフリー化に向け、2カ月に1度関係者と打ち合わせを行い、計画を策定する。	学内バリアフリー化に関する打ち合わせ回数	5点：6回以上 4点：5回 3点：4回 2点：3回 1点：2回以下	3
【Vision 1】 教育・研究	●小規模の女子大学の特色を活かしたライフキャリア教育の実現	2. 小規模大学ならではの学生支援の実現	③安心して学ぶための相談体制づくり	障がい学生高等教育支援室	14-1	要フォロー者の入力を継続してできる。	リストの入力率 (健康相談者数は別途入力実施中)	5点：80%以上 4点：60-80%未満 3点：40-60%未満 2点：20-40%未満 1点：20未満	5
					14-2	毎月1週目の水曜日に要フォロー者の次回フォローアップ予定日(時期)を決定しリスト入力できる。	次回フォローアップ予定日(時期)のリスト内入力率	5点：81～100% 4点：61～80% 3点：41～60% 2点：21～40% 1点：21%未満	5
					14-3	フォローアップ予定日(時期)にメールや電話で連絡をする。	予定日(時期)フォローアップ率	5点：41～50% 4点：31～40% 3点：21～30% 2点：11～20% 1点：11%未満	5
					14-4	スクリーニングテストの呼び出し面接で心配があるが継続面接にならなかった者、反応のなかった者へ後期に再度声掛けを行う。加えて昨年度のスリーニング検査で要フォローと判断され継続面接に至っていない者への声掛けも行う。	対象者へのフォロー（声掛け）の実施割合	5点：80%以上 4点：60-80%未満 3点：40-60%未満 2点：20-40%未満 1点：20%未満	5

中期ビジョン no	中期ビジョン	重点目標	行動計画	担当部署	2024年度 事業計画				事業報告
					NO	行動目標	評価指標	評価基準	
【Vision 1】 教育・研究	●小規模の女子 大学の特色を活か したライフキャリア教 育の実現	3. 地域社会に貢 献する研究活動の 推進	①研究活動の支 援	研究支援・社 会連携セン ター	15-1	科研費の応募数を増加させる。	応募件数	5点：25件以上 4点：20-25件未満 3点：15-20件未満 2点：10-15件未満 1点：10件未満	3
					15-2	各種団体の研究助成応募数を増加させる。	応募件数	5点：5件以上 4点：4件 3点：3件 2点：2件 1点：1件以下	2
					15-3	科研費獲得のための説明会（セミナー）を実施する。	参加率	5点：80%以上 4点：70-80%未満 3点：60-70%未満 2点：50-60%未満 1点：50%未満	4
【Vision 1】 教育・研究	●小規模の女子 大学の特色を活か したライフキャリア教 育の実現	4. 国際化の推 進	①国際的に認知さ れるカリキュラム編 成、それに伴う教育 力と運営システムを 整備	入試・広報課	16-1	日本語学校へ訪問する。	日本語学校への訪問回数	5点：5回以上 4点：4回 3点：3回 2点：2回 1点：2回未満	1
					16-2	日本語学校教員に対し、奨学金制度などを詳細に説 明する等して、来校促進につなげる。	日本語学校からの来校回数	5点：5回以上 4点：4回 3点：3回 2点：2回 1点：2回未満	1
【Vision 1】 教育・研究	●小規模の女子 大学の特色を活か したライフキャリア教 育の実現	4. 国際化の推 進	①国際的に認知さ れるカリキュラム編 成、それに伴う教育 力と運営システムを 整備	総合学生支 援センター （国際交流 センター）	17-1	派遣希望の大学と連絡をとり、留学形態の確認をする （交換留学・1年以内の短期派遣・編入・ダブルディグ リー・大学院入学）。	交渉を始めた大学等の数	5点：5校以上 4点：4校 3点：3校 2点：2校 1点：1校以下	1
					17-2	ダブルディグリーに必要な本学側の資料を準備する。	学則の完成状況	5点：できた 4点： 3点： 2点： 1点：できなかった	1
					17-3	相手校と双方のカリキュラムを確認し、単位互換案を試 作。ダブルディグリーの協定を結ぶ。	協定締結状況	5点：提携を締結した 4点：提携が決まった 3点：単位互換表が完成した 2点：単位互換について検討した 1点：交渉を始めることができた	—
【Vision 1】 教育・研究	●小規模の女子 大学の特色を活か したライフキャリア教 育の実現	4. 国際化の推 進	②全学部学科に 海外研修プログラム を置き、学生の海 外研修の機会を拡 大	総合学生支 援センター （国際交流 センター）	18-1	各海外研修プログラムの概要、費用やメリット、不利益 をリスト化し、研修を整理する。	リストの作成状況	5点：5学科分 4点：4学科分 3点：3学科分 2点：2学科分 1点：1学科分	1

中期ビジョン no	中期ビジョン	重点目標	行動計画	担当部署	2024年度 事業計画				事業報告
					NO	行動目標	評価指標	評価基準	
					18-2	学科の特性に合った研修プログラム内容を検討する。	プログラム提案数	5点：5プログラム以上 4点：4プログラム 3点：3プログラム 2点：2プログラム 1点：1プログラム	1
					18-3	GOプログラムの費用の適正化により、大学負担額を縮小し、他のプログラムとのバランスを整える。	プログラム見直しの進捗状況	5点：見直しされた 4点： 3点： 2点：提案を行った 1点：取り組んだ	1
【Vision 2】 地域連携・社会貢献	●社会で活躍する人材づくりを念頭に置いた地域における教育活動の展開	1. 地域社会と学生を結びつける機会の強化	①地方公共団体や企業、市民団体、教育機関との提携や共同活動の強化および新規開拓	キャリア支援課 研究支援・社会連携センター	19-1	業界団体のリサーチ	業界団体の実態把握数	5点：10団体以上 4点：8-9団体 3点：6-7団体 2点：4-5団体 1点：3団体以下	1
					19-2	業界団体へのアプローチ	窓口（紹介者）のコネクション数	5点：5件以上 4点：4件 3点：3件 2点：2件 1点：1件以下	1
					19-3	教員への活動調査を徹底し、把握した未締結の活動は締結を進める。	締結件数	5点：5件以上 4点：4件 3点：3件 2点：2件 1点：1件以下	2
					19-4	すでに「協定書」等があるが、活動実態がないものを見直す。	見直し件数	5点：5件以上 4点：4件 3点：3件 2点：2件 1点：1件以下	1
					19-5	新しい連携先を開拓する。	連携打診件数	5点：5件以上 4点：4件 3点：3件 2点：2件 1点：1件以下	2
【Vision 2】 地域連携・社会貢献	●社会で活躍する人材づくりを念頭に置いた地域における教育活動の展開	1. 地域社会と学生を結びつける機会の強化	②提携機関との相互交流を通じた教育効果の促進	研究支援・社会連携センター	20-1	学生が本学ポートフォリオの「活動記録」を入力する意義を啓発する。	1年生の「活動記録」認知率	5点：90%以上 4点：80-90%未満 3点：70-80%未満 2点：60-70%未満 1点：60%未満	4
					20-2	学科・教員個人との連携を図る。	学生主体の活動の割合	5点：90%以上 4点：80-90%未満 3点：70-80%未満 2点：60-70%未満 1点：60%未満	1

中期ビジョン no	中期ビジョン	重点目標	行動計画	担当部署	2024年度 事業計画				事業報告
					NO	行動目標	評価指標	評価基準	
					20-3	センターが把握するボランティア活動も学生主体(発案)の活動への転換を図る。	ボランティアの活動実績数	5点：5件以上 4点：4件 3点：3件 2点：2件 1点：1件以下	5
					20-4	教務課・学生課・キャリア支援課との連携を図る。	打合せ回数	5点：5回以上 4点：4回 3点：3回 2点：2回 1点：1回以下	1
【Vision 2】 地域連携・社会貢献	●社会で活躍する人材づくりを念頭に置いた地域における教育活動の展開	1. 地域社会と学生を結びつける機会の強化	②提携機関との相互交流を通じた教育効果の促進	キャリア支援課	21-1	国際英語学科2年次CSPで学外ヘリサーチに行く。	授業評価アンケート「成長実感」の肯定的回答の割合	5点：100% 4点：90%～99% 3点：80%～89% 2点：70%～79% 1点：69%以下	4
					21-2	人文学部2年次CSPとして発表を行う。	企業の受け入れ満足度	5点：95%以上 4点：85-95%未満 3点：75-85%未満 2点：65-75%未満 1点：65%未満	5
					21-3	各学科の社会と接点のある科目の把握	キャリア支援委員と各学科の科目についてヒアリング	5点：5学科 4点：4学科 3点：3学科 2点：2学科 1点：1学科以下	5
【Vision 2】 地域連携・社会貢献	●社会で活躍する人材づくりを念頭に置いた地域における教育活動の展開	2. 学生の成長を見据えた地域活動の質的向上	①教職員、学生の連携した活動の促進	研究支援・社会連携センター	22-1	学内コンペに6以上の学生グループが応募する。	応募グループ数	5点：10グループ以上 4点：9グループ 3点：8グループ 2点：7グループ 1点：6グループ以下	—
					22-2	コンペに参加した学生が成長実感・満足度を得る。	参加学生の満足度の平均	5点：3.7点以上 4点：3.0-3.7点未満 3点：2.3-3.0点未満 2点：1.6-2.3点未満 1点：1.6点未満	—
					22-3	学内評価者にコンペの内容を評価してもらう。	学内評価者のコンペ評価の平均	5点：3.7点以上 4点：3.0-3.7点未満 3点：2.3-3.0点未満 2点：1.6-2.3点未満 1点：1.6点未満	—
					22-4	企業・団体・自治体・協力会等に評価(講評含む)を依頼する。	外部評価者のコンペ評価の平均	5点：3.7点以上 4点：3.0-3.7点未満 3点：2.3-3.0点未満 2点：1.6-2.3点未満 1点：1.6点未満	—

中期ビジョン no	中期ビジョン	重点目標	行動計画	担当部署	2024年度 事業計画				事業報告
					NO	行動目標	評価指標	評価基準	
					22-5	外部の活動発表会に学生を派遣する。	派遣学生の満足度の平均	5点：3.7点以上 4点：3.0-3.7点未満 3点：2.3-3.0点未満 2点：1.6-2.3点未満 1点：1.6点未満	—
【Vision 2】 地域連携・社会貢献	●社会で活躍する人材づくりを念頭に置いた地域における教育活動の展開	2. 学生の成長を見据えた地域活動の質的向上	②学生支援を目的とした教職員のスキルの強化	研究支援・社会連携センター	23-1	社会連携・ボランティアがテーマの研修・セミナーの受講回数(3名合計)	延べ受講回数	5点：30回以上 4点：25-30回未満 3点：20-25回未満 2点：15-20回未満 1点：15回未満	1
					23-2	学内への研修会・セミナー情報提供と受講の促進	全教職員への配信回数	5点：6回以上 4点：5回 3点：4回 2点：3回 1点：3回未満	5
					23-3	受講内容の共有（学びの共有と活動への反映）	課内研修会の実施回数	5点：5回以上 4点：4回 3点：3回 2点：2回 1点：1回以下	1
【Vision 2】 地域連携・社会貢献	●社会で活躍する人材づくりを念頭に置いた地域における教育活動の展開	2. 学生の成長を見据えた地域活動の質的向上	②学生支援を目的とした教職員のスキルの強化	総務課（人事）	24-1	研修時の理解度の把握	研修参加者の目標達成度の平均(研修会後アンケートの理解度の項目を点数化し算出)	5点：4.5以上 4点：4.0-4.5未満 3点：3.5-4.0未満 2点：3.0-3.5未満 1点：3.0未満	5
					24-2	研修後のフィードバック報告会の実施	報告会の参加率	5点：95%以上 4点：90-95%未満 3点：85-90%未満 2点：80-85%未満 1点：80%未満	5
					24-3	研修に関する振り返りアンケート実施	アンケート回収率	5点：95%以上 4点：90-95%未満 3点：85-90%未満 2点：80-85%未満 1点：80%未満	5
【Vision 2】 地域連携・社会貢献	●社会で活躍する人材づくりを念頭に置いた地域における教育活動の展開	3. 社会への人材輩出に向けたキャリア教育の強化	①在学生および卒業生、企業からの情報を分析、活用したキャリア支援の推進	キャリア支援課	25-1	学内にOGをお招きする機会を把握する	キャリア支援委員と各学科の科目についてヒアリング ^a	5点：5学科 4点：4学科 3点：3学科 2点：2学科 1点：1学科以下	5
					25-2	OGを囲む会実施に向けて企業への依頼	OGを囲む会の実施回数	5点：10回以上 4点：8-9回 3点：6-7回 2点：4-5回 1点：3回以下	1

中期ビジョン no	中期ビジョン	重点目標	行動計画	担当部署	2024年度 事業計画				事業報告
					NO	行動目標	評価指標	評価基準	
					25-3	OGへのリスニング内容の作成	各学科のOGへのヒアリング	5点：5学科 4点：4学科 3点：3学科 2点：2学科 1点：1学科以下	1
【Vision 2】 地域連携・社会貢献	●社会で活躍する人材づくりを念頭に置いた地域における教育活動の展開	3. 社会への人材輩出に向けたキャリア教育の強化	②就業観や職業観を段階的に植え付けるキャリア支援プログラムの強化	キャリア支援課	26-1	2年次からガイダンス及びセミナー実施	ガイダンス実施回数	5点：7回以上 4点：6回 3点：5回 2点：4回 1点：3回以下	5
					26-2	2024年度からのライフキャリアデザイン内で何ができるか具体的に検討する。	実施案の件数	5点：5件以上 4点：4件 3点：3件 2点：2件 1点：2件未満	5
					26-3	2024年度からのライフキャリアデザインを踏まえての在学中のセミナー及びガイダンスを検討する。	4年間の計画	5点：4年間 4点：3年間 3点：2年間 2点：1年間 1点：半期	3
【Vision 2】 地域連携・社会貢献	●社会で活躍する人材づくりを念頭に置いた地域における教育活動の展開	3. 社会への人材輩出に向けたキャリア教育の強化	③正課教育と連携した社会人基礎力を高める協働的取り組みの推進	キャリア支援課 総合学生支援センター（教務）	27-1	企業アンケートの実施	アンケート件数	5点：100社以上 4点：90社～99社 3点：80社～89社 2点：70社～79社 1点：69社以下	5
					27-2	企業アンケート結果の分析及び評価	アンケート結果分析・共有・課題解決の進捗状況	5点：課題解決への方策が決定 4点：改善提案 3点：課題発見 2点：評価 1点：分析を行う	1
					27-3	「ライフキャリアデザイン」科目の4年間概要決定	シラバスの作成	5点：7セメスター 4点：5-6セメスター 3点：3-4セメスター 2点：2セメスター 1点：1セメスター	2
					27-4	企業と教員の接点を提供	企業との接点回数	5点：6回以上 4点：4～5回 3点：3回 2点：2回 1点：1回	5
【Vision 3】 学生募集	●入試戦略の見直し並びに入試制度改革による入学者数の増加	1. 入学定員の確保	①入学者数増加に向けた入試戦略の確立並びに学生募集体制の見直し	入試・広報課	28-1	高校訪問戦略を見直し、改善を図る。	入学者数	5点：250名以上 4点：225-250名未満 3点：200-225名未満 2点：175-200名未満 1点：175名未満	1

中期ビジョン no	中期ビジョン	重点目標	行動計画	担当部署	2024年度 事業計画				事業報告
					NO	行動目標	評価指標	評価基準	
					28-2	分析を行い来場者へのフォローなどイベント参加への促進を図る。	OCリピーター数	5点：150以上 4点：125-150名未満 3点：100-125名未満 2点：75-100名未満 1点：75名未満	4
【Vision 3】 学生募集	●入試戦略の見直し並びに入試制度改革による入学 者数の増加	2. アドミッション・ ポリシーに基づく入 試制度の改革	①総合的な資質を 評価するための入 試制度への改変	入試・広報課	29-1	総合型選抜の入学者数を110名以上にする。	総合型選抜の入学者数	5点：110以上 4点：100～109名 3点：90～99名 2点：80～89名 1点：79名以下	1
					29-2	学校推薦型選抜の入学者数を90名以上とする。	学校推薦型選抜の入学者数	5点：90名以上 4点：80～89名 3点：70～79名 2点：60～69名 1点：59名以下	1
【Vision 3】 学生募集	●入試戦略の見直し並びに入試制 度改革による入学 者数の増加	2. アドミッション・ ポリシーに基づく入 試制度の改革	②全学的な入学 者選抜の実施・評 価体制の構築と強 化	入試・広報課	30-1	APIに基づく科目の配点の適正化	入試制度数（全7制度）	5点：7以上 4点：5,6 3点：3,4 2点：2 1点：1以下	—
					30-2	入学者の入試得点データと教学データベースの連動	データリンクが終了した入学 者割合	5点：100% 4点：85～100%未満 3点：70～85%未満 2点：55～70%未満 1点：55%未満	—
					30-3	APIに基づく資質の入試得点データと入学後の教学デ ータの連動	資質の入試データリンクが終了 した入学生の割合	5点：60%以上 4点：55～60%未満 3点：50～55%未満 2点：45～50%未満 1点：45%未満	—
【Vision 3】 学生募集	●入試戦略の見直し並びに入試制 度改革による入学 者数の増加	3. 本学の大学 教育の特色の定 着に向けた広報の 推進	①多様なニーズに 即した情報発信の 推進	入試・広報課	31-1	月間新規ユーザー数の増加	月間新規ユーザー数	5点：18,000以上 4点：17,000-18,000未満 3点：16,000-17,000未満 2点：15,000-16,000未満 1点：15,000以下	5
					31-2	オンライン広告の充実を図る。	ウェブサイトの年間新規ユー ザー数	5点：22万以上 4点：18-22万未満 3点：14-18万未満 2点：10-14万未満 1点：10万未満	3
					31-3	OCの案内などターゲットに合わせてSNS等で情報発信 を行う。	OC来場者数	5点：450名以上 4点：400-450名未満 3点：350-400名未満 2点：300-350名未満 1点：300名未満	5

中期ビジョン no	中期ビジョン	重点目標	行動計画	担当部署	2024年度 事業計画				事業報告
					NO	行動目標	評価指標	評価基準	
【Vision 3】 学生募集	●入試戦略の見直し並びに入試制度改革による入学者数の増加	3. 本学の大学教育の特色の定着に向けた広報の推進	②自らの成長・将来を想像させる広報素材の獲得と発信	入試・広報課	32-1	プレスリリース配信数増加	プレスリリース配信本数	5点：20本以上 4点：18、19本 3点：17本 2点：16本 1点：15本以下	1
					32-2	ウェブサイトからの情報発信増加	掲載記事本数	5点：110本以上 4点：105-110本未満 3点：100-105本未満 2点：95-100本未満 1点：95本以下	1
					32-3	SNS投稿記事本数の増加	投稿記事本数	5点：240本以上 4点：230-240本未満 3点：220-230本未満 2点：210-220本未満 1点：210本未満	1
【Vision 3】 学生募集	●入試戦略の見直し並びに入試制度改革による入学者数の増加	3. 本学の大学教育の特色の定着に向けた広報の推進	③広報戦略および情報の全学的な浸透	入試・広報課	33-1	ガイダンスを実施し、教職員全員で広報に取り組める体制を作る。	教職員のガイダンス出席率	5点：95%以上 4点：90-95%未満 3点：85-90%未満 2点：80-85%未満 1点：80%未満	—
					33-2	OC等の説明会にて、大学としての方向性を教職員に共有する。	OC説明会参加率	5点：95%以上 4点：90-95%未満 3点：85-90%未満 2点：80-85%未満 1点：80%未満	—
【Vision 3】 学生募集	●入試戦略の見直し並びに入試制度改革による入学者数の増加	4. 多彩な高大連携の取り組みの企画・実施	①高大連携の枠組みの拡大	入試・広報課	34-1	独自の高大連携講座を増加する。	高大連携講座の実施回数	5点：23以上 4点：22 3点：21 2点：20 1点：19以下	1
					34-2	高校のニーズを把握し、協力してもらえる高校を増やす。	高大連携実施校	5点：5校 4点：4校 3点：3校 2点：2校 1点：1校以下	1
					34-3	職員も積極的に関与しながら、高大連携講座の内容を見直し、受講者を増やす。	高大連携講座参加者数	5点：30名以上 4点：28-30名未満 3点：26-28名未満 2点：24-26名未満 1点：24名未満	5
【Vision 3】 学生募集	●入試戦略の見直し並びに入試制度改革による入学者数の増加	4. 多彩な高大連携の取り組みの企画・実施	②大学と高校の相互教育の場の構築	入試・広報課	35-1	年12回以上の高大連携事業を実施。	高大連携事業の実施回数	5点：12回以上 4点：10-12未満 3点：8-10未満 2点：6-8未満 1点：6未満	1

中期ビジョン no	中期ビジョン	重点目標	行動計画	担当部署	2024年度 事業計画				事業報告
					NO	行動目標	評価指標	評価基準	
【Vision 3】 学生募集	●入試戦略の見直し並びに入試制度改革による入学 者数の増加	4. 多彩な高大 連携の取り組みの 企画・実施	③人材育成に向け た協働の場の構築	入試・広報課	36-1	入試募集に関する研修実施	研修実施回数	5点：5回以上 4点：4回 3点：3回 2点：2回 1点：1回以下	1
					36-2	学内で入試の知識を共有する講演の内容を見直す。	講演後アンケートの理解度の肯定 的回答	5点：95%以上 4点：92-95%未満 3点：89-92%未満 2点：87-89%未満 1点：87%未満	—
【Vision 4】 組織運営	●財政の安定化 及び組織基盤の強 化	1. 人事方針の 明確化ならびに戦 略的な人材育成・ 人材活用の促進	①「キリスト教精 神」キリスト教的価 値観を共有、信頼 関係に基づく組織 運営の実施	宗教センター 総務課（人 事）	37-1	新任オリエンテーションで「キリスト教の時間」のうち出席を 推奨する回を伝え、その回が開催される日に新任者に 対し案内を入れ、出席を促す。	指定した回の新任者の出席者数	5点：6名以上 4点：5名 3点：4名 2点：3名 1点：2名以下	1
					37-2	全教職員に「キリスト教の時間」や「木曜日チャペル」へ の出席を教授会や課長会議で奨励し、各学期 4 回の 出席を義務づけ、出席カードを提出させる。	出席者数（4回以上出席した 者）	5点：60人以上 4点：50-59人 3点：40-49人 2点：30-39人 1点：29人以下	1
					37-3	「月曜日朝礼拝」の出席を教授会や課長会議で奨励 する。	出席率	5点：90%以上 4点：80-90%未満 3点：70-80%未満 2点：61-70%未満 1点：60%以下	2
【Vision 4】 組織運営	●財政の安定化 及び組織基盤の強 化	1. 人事方針の 明確化ならびに戦 略的な人材育成・ 人材活用の促進	②教職員の活性 化・資質の向上を 図り本学の教育 力・組織力の強化 を目指す	総務課（人 事）	38-1	課長会議などで協力を依頼し、受入部署を増やすことを 検討する	受入部署数	5点：8部署以上 4点：7部署 3点：6部署 2点：5部署 1点：4部署以下	1
					38-2	参加人数を5人以上とする	参加者数	5点：5人以上 4点：4人 3点：3人 2点：2人 1点：1人以下	1
					38-3	職場内インターンシップ趣旨について対面またはオンライ ンで説明する	実施時期	5点：7月以前 4点：8月 3点：9月 2点：10月 1点：11月以降	1
【Vision 4】 組織運営	●財政の安定化 及び組織基盤の強 化	1. 人事方針の 明確化ならびに戦 略的な人材育成・ 人材活用の促進	②教職員の活性 化・資質の向上を 図り本学の教育 力・組織力の強化 を目指す	FD委員会	39-1	ティーチング・ポートフォリオ（以下、TP）の活用に関わ る研修会を実施する	授業改善目標をティーチング・ ポートフォリオに取り入れた教員数	5点：95%以上 4点：90～94% 3点：85～89% 2点：80～84% 1点：80%未満	5

中期ビジョン no	中期ビジョン	重点目標	行動計画	担当部署	2024年度 事業計画				事業報告
					NO	行動目標	評価指標	評価基準	
					39-2	教員の満足度の高いFD研修会を実施する	FD研修会、FD・SD研修会の教員満足度87%を超えた研修会の回数	5点：5回以上 4点：4回 3点：3回 2点：2回 1点：2回未満	5
					39-3	年度当初に研修計画の提示し、メールや教授会で研修会の参加を呼びかける	FD研修会、FD・SD研修会への教員参加率が85%を超えた研修会の回数	5点：6回以上 4点：5回 3点：4回 2点：3回 1点：3回未満	1
					39-4	学外でのFD研修会の活用の奨励	学外のFD研修参加実数	5点：17人以上 4点：15-16人 3点：13-14人 2点：11-12人 1点：11人未満	1
【Vision 4】 組織運営	●財政の安定化 及び組織基盤の強化	2. 本学独自のガバナンス強化体制の確立	①学長を中心とする組織部署の適切性を検証し、大学全体のガバナンスの在り方を維持できる体制を整備	学長室	40-1	2025年3月末までに大学の規程全体の確認・整備を完了する	大学に係る規程整備・確認の割合	5点：80%以上 4点：60-80%未満 3点：40-60%未満 2点：20-40%未満 1点：20%未満	1
【Vision 4】 組織運営	●財政の安定化 及び組織基盤の強化	2. 本学独自のガバナンス強化体制の確立	②自然災害等の有事の体制を想定し、複雑化する危機管理の徹底を図る	総務課（総務）	41-1	危機管理室を構築し、災害発生時のフローを検討する	危機管理室の検討・立ち上げ	5点：教職員に共有 4点：災害発生時のフロー決定 3点：災害発生時のフロー検討 2点：危機管理室の立ち上げ 1点：危機管理室の検討	—
					41-2	教職員安否確認システムの導入する	教職員安否確認システムの検討・導入	5点：安否確認システムの習熟運用 4点：安否確認システムの導入と共有 3点：安否確認システムのフロー決定 2点：安否確認体制のフロー検討 1点：安否確認システムの仕様決定	—
					41-3	事業継続計画（BCP）の研修を実施する	教職員の研修参加率	5点：100%以上 4点：90%以上100%未満 3点：80%以上90%未満 2点：70%以上80%未満 1点：70%未満	3
【Vision 4】 組織運営	●財政の安定化 及び組織基盤の強化	3. スマートキャンパスに向けたキャンパス整備	①学生のニーズにあわせ、変化する教育に適した新時代のキャンパス整備を実施	総合学生支援センター（情報）	42-1	学生部門と相談しつつ、オンライン申請可能なものを洗い出し、移行する。 担当部門と連携方法を明確にする。 課内での進捗状況の確立。 オンライン申請可能なものを洗い出し。	洗い出された手続きのうち、オンライン申請に移行した件数	5点：4件以上 4点：3件 3点：2件 2点：1件 1点：現調査	1
					42-2	定期的ネットワーク監視作業 障害発生後の復旧を早期に行う。 セキュリティ事故発生件数0件 「卒業生アンケート」を実施する。 教職員向けの満足度調査方法を確立する。	卒業生アンケートによる「パソコン・インターネット等の情報設備が充実している」の肯定的回答	5点：85%以上 4点：80-85%未満 3点：75-80%未満 2点：70-75%未満 1点：70%未満	1

中期ビジョン no	中期ビジョン	重点目標	行動計画	担当部署	2024年度 事業計画				事業報告
					NO	行動目標	評価指標	評価基準	
【Vision 4】 組織運営	●財政の安定化 及び組織基盤の強 化	3. スマートキャン パスに向けたキャン パス整備	②全学的なDXの 推進	学長室	43-1	教職員が各自でデータ分析できる環境構築に向けた情 報を収集する	他大学での事例、関連システム の情報公開数	5点：10件以上 4点：7～9件 3点：4～6件 2点：2～3件 1点：1件以下	1
					43-2	集計・分析できる人数が増えるように、IR研修の受講者 数の増加。	IRに関する研修の受講人数	5点：5人以上 4点：4人 3点：3人 2点：2人 1点：1人以下	2
【Vision 4】 組織運営	●財政の安定化 及び組織基盤の強 化	3. スマートキャン パスに向けたキャン パス整備	③SDGsに沿った 持続可能なキャン パス整備を通じて 自然保護を推進	総務課（総 務）	44-1	SDGs13の目標に関して、温暖化を防ぐ観点から、教 職員が協力し電気使用量を2%削減する。	電気代使用量削減率（2023 年度比）	5点：2.5%以上 4点：2.0% 3点：1.5% 2点：1.0% 1点：0.5%未満	1
					44-2	教職員に本学で実施可能なSDGsを募集し検討す る。	募集件数	5点：5件以上 4点：4件 3点：3件 2点：2件 1点：2件未満	1